

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話 72・0331）



思いを語る野口さん

互いを認め合える社会を

人権・同和教育学習講座

一人ひとりの人権意識を高め、差別のない明るい社会をつくろうと、12月8日、町人権・同和教育学習講座（町教育委員会主催）が開発センターで開かれました。

今回は、講師に野口高幸さん（西部教育事務所社会教育係）を迎え、「一人の意識が地域を変える」と題した講演が行われました。

講演の中で野口さんは、「人権問題は他人事ではなく、自分自身の問題として捉えることが大切。固定観念をなくし、自分の誤りに気づいて、一人ひとりが安心して暮らせる地域社会を目指しましょう」と訴えました。

根雨の町並みを見つめ直そう

景観まちづくり研修会

歴史・文化など地域固有の資源を活かしたまちづくりを図ろうと、12月10日と11日、景観まちづくり研修会（NPO法人市民文化財ネットワーク鳥取、県主催）が開発センターで開かれました。

研修会には、景観・まちづくり活動を行っている人や、歴史・文化に関心がある人などが参加しました。

研修会は、郷土史家の影山猛さん（江府町）による根雨宿やたらの歴史の解説のほか、根雨の町並みの見学会や座談会、ワークショップなど盛りだくさんの内容で、参加者は知識と交流を深めました。



今に残る根雨宿の町並みを見学

寝たきりゼロを目指して

ほかばか教室（転倒骨折予防教室）

転倒による骨折を防ぎ、寝たきりゼロの健康づくりをめざして、ほかばか教室（転倒骨折予防教室）が、12月12日、黒坂7区集会所で開かれました。

講師の健康運動指導士の出石勉さんは、「転んで骨折すると、そのまま寝たきりの生活になってしまう場合が多い。足腰を丈夫にして骨折を予防することが大切」と話し、集まった住民とストレッチや健康体操を行いました。

ほかばか教室は、このほか希望する自治会で手芸や料理教室なども開かれています。



まずは足のストレッチをじっくりと

冬も安全に気をつけよう

年末の交通安全県民運動

交通量の増加や飲酒の機会が増える年末に向けての交通安全県民運動が、12月12日から21日まで行われました。今回は、飲酒運転の根絶、高齢者の交通事故防止、自転車の安全利用の推進を重点事項に、県内全域で運動が行われました。

13日には、丸合根雨店とサンブラザ前で町交通安全対策協議会や交通指導員らによる街頭広報が行われ、訪れる人に反射材シールなどを手渡しながら交通安全を呼びかけました。



反射材で足元キラリ、気をつけて歩こう

高齢者福祉に役立てて

かじか荘に福祉車両寄贈

12月16日、デイサービスセンターかじか荘（根雨）に中外製薬株式会社から、在宅福祉移送サービスカー1台が寄贈されました。

これは、中外製薬創立80周年記念事業で各都道府県に1台ずつ寄贈されているもので、鳥取県では日野町社会福祉協議会（小谷三郎会長）が寄贈先に選定されました。

かじか荘で開かれた寄贈式では小谷会長が「町財政の厳しい中、福祉車両の更新に頭を悩ませていたところ今回寄贈いただくことになり、本当にうれしい」とあいさつ、喜びを語りました。

寄贈されたサービスカーには車椅子のままで3人が乗車でき、電動リフトで乗り降りも簡単で、かじか荘利用者の送迎に使われます。



車椅子のままで簡単に乗車



地域住民の交流の拠点に

コミュニティの活性化を

下黒坂ふれあい会館竣工

12月23日、下黒坂の「下黒坂ふれあい会館」が完成し、竣工式が開かれました。会館は木造平屋建てで、ふれあいホールや和室、調理実習室などがあり、地域住民のコミュニティ活動や健康づくりに活用されます。

式典の前には、さつそく調理実習室を使つての「おふくろの味講習会」があり、地元産の山菜などを使った伝承料理が作られ、式典参加者にふるまわれました。

切り絵で作る紙芝居

ブラックライト紙芝居作り

子どもたちと高齢者の交流を図ろうと、ブラックライト紙芝居作り（日野ボランティア・ネットワーク主催）が、12月24日、町図書館で行われました。

ブラックライト紙芝居は、白黒の画用紙を切り絵にして、蛍光絵の具で鮮やかな色を浮かび上げさせる幻想的なもの。参加した子どもたちは、まちに伝わる昔話「竜王滝のはなし」を題材に、「昔のくらしはどんな感じかな」などと本や写真を見ながら下絵作りをしました。11月から作り始めたこの紙芝居は3月には完成し、図書館や老人施設などで上演する予定です。



昔の資料をもとに下絵作り